

形成計画の目標到達状況について

目 標	指 標	指標設定時	平成27年度 の状況	平成28年度 の状況	平成29年度 の状況	目標値 (31年度)
まちづくりの軸となる 利便性の高い公共 交通ネットワークを 形成する	「離島を除く地域拠点（都市核・ 地域核・生活核）が鉄道又は路線 バスで結ばれている」割合を維持 する	100% (H26年)	100%	100%	100%	100%
	「通勤・通学における公共交通 （鉄道・バス等）の利用率（分担 率）」を維持・増加させる	18.5% (H22年) 国勢調査より		次回の調査はH32年		19.0% (H32年)
	「交通不便地区対策の実施箇所 数」を増やす	3か所 (H26年)	3か所 (H27年)	5か所 (H28年)	6か所 (H29年度)	6か所
複数モードの連携に より公共交通ネット ワーク全体の利便性 を確保する	「複数の交通モード間の連携策」 を増やす ①複数交通モード間の連携に関 する情報提供等の取り組み件数 ②複数交通モード間の利用にお ける割引制度等の導入件数 ③パーク＆ライドの件数	9件 (H26年) ②サンキューバス・ス マートカード・観光バス ポート③6件	10件 (追加) ②高速バスと路線バス、 観光バスと路線バスの企 画切符の導入	11件 (追加) ②西肥バス定期利用者対 象のMR連携サービス (社会実験)	12件 (追加) ①MR佐々駅・佐々バスターミナルにおける 連絡ダイヤの調整	14件
利便性を維持した持 続可能なバス事業を 実現する	「乗合バス路線における実車走行 キロあたり利用者数」（運行効率 を表す指標）を維持・増加させる	1.31人/キロ (H25年度) 事業者データ合計値	1.33人/キロ (H27年度) 事業者データ合計値	1.35人/キロ (H28年度) 事業者データ合計値	1.36人/キロ (H29年度) 事業者データ合計値	1.38人/キロ
	「乗合バス事業の収支率（経常収 益÷経常費用、補助金を除く）」 を改善する	94.4% (H25年度) 事業者データ合計値	94.3% (H27年度) 事業者データ合計値	94.6% (H28年度) 事業者データ合計値	91.9% (H29年度) 事業者データ合計値	100%
公共交通の利用促 進・需要創造を推進 する	「地域が連携して企画・実現した 利用促進の取り組みの数」を増や す	0件 (H26年)	0件 (H27年)	0件 (H28年)	2件 (H29年) ①公共交通ふれあいフェスタでの市内周遊 モデルコースチラシを県立大学生が作成 ②ママパパとの意見交換をきっかけに路線 バス内でのベビーカーベルト導入	5件
	「通勤・通学における公共交通 （鉄道・バス等）の利用率（分担 率）」を維持・増加させる	18.5% (H22年) 国勢調査より		次回の調査はH32年		19.0% (H32年)
	「通勤・通学定期券・敬老福祉特 別乗車証以外の利用者（来訪者含 む）」を維持・増加させる	1100万人/年 (H25年度) 事業者データ合計値	1079万人/年 (H27年度) 事業者データ合計値	808万人/年 (H28年度) 事業者データ合計値	756万人/年 (H29年度) 事業者データ合計値	1100万人/年
	(参考) 利用者全体	1963万人 うち上記割合 56.0%	1882万人 うち上記割合 57.3%	1817万人 うち上記割合 44.5%	1737万人 うち上記割合 43.5%	